

# 神田川から峠を越えて

## 神楽坂路地歩き

日時：2014年2月24日（月） ゆったりコース 10000歩 約6km

集合：東京メトロ・江戸川橋駅 1a出口（地上） 11時

コース：江戸川橋駅→地藏坂→神楽坂駅→赤城神社→神楽坂上→兵庫横丁→善国寺（毘沙門天）の水準点  
→小栗横丁→五十番→本多横丁→かくれんぼう横丁→芸者新道→神楽坂仲通り→若宮八幡→神楽坂下  
→カナルカフェ→ペコちゃん焼→JR 飯田橋駅

参加者：講師=山岡光治氏 吉越（L）・佐藤伊・荒波・神谷・濱崎和・佐藤繁・斎藤優・沢崎・森川・井内  
伊藤美・落合・山川・横田・金丸・市村・草野・小島/石森・郡夫妻（一般参加） 計22名

古い話になりますが、昭和43年から15年ほど勤務先が九段下にあった関係で、飯田橋駅は通勤でよく利用していました。そこからほど近い神楽坂界隈にはよく行ったものです。久々に歩いてみると、当時の面影は残っているものの、通りの左右はビルが立ち並び、些か歩きづらい街並みに変貌していましたが、一步路地に入ると、そこにはかつての神楽坂が残っていました。狭い路地の奥には粋な料理店が暖簾を掲げ、別世界に迷い込んだような雰囲気が漂います。また「神楽坂上」交差点が坂の上ではなく、むしろ少し下った谷底なことも知り、このエリアの不思議な地形を実感することが出来ました。風はなかったものの、薄日が射す真冬の一日でしたが、堀端を走る中央線を見ながらカナルカフェの遅いランチタイムで温まりました。

〈フォトレポート 小島〉



江戸川橋公園で山岡先生からコースの説明。



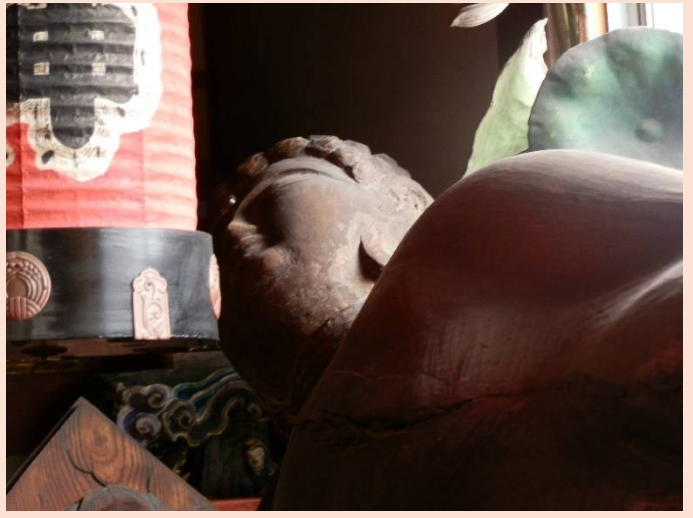
これから歩く地形を確認します。



子育て地藏。皆さんはもう子育ては終了したはずですが...



地藏通り商店街で。



地藏坂。

お堂の中には何故か涅槃像が...



路地から路地へ。

洒落た窓。

揃って歩道を歩きます。いいお手本です。



路地の角に綺麗な花が咲いていました。

電灯？





アユミギャラリー。クラシックな建物の中では水彩画や陶板画を展示。スケッチウオークの方々には参考になったのでは。



通りにはご覧の旗が。



途中のパン屋の看板は可愛い亀のデザイン。



赤城神社に入ります。



近代的な神社。果たしてご利益は？



四姉妹？いや、四熟女です。



下は崖地になっています。



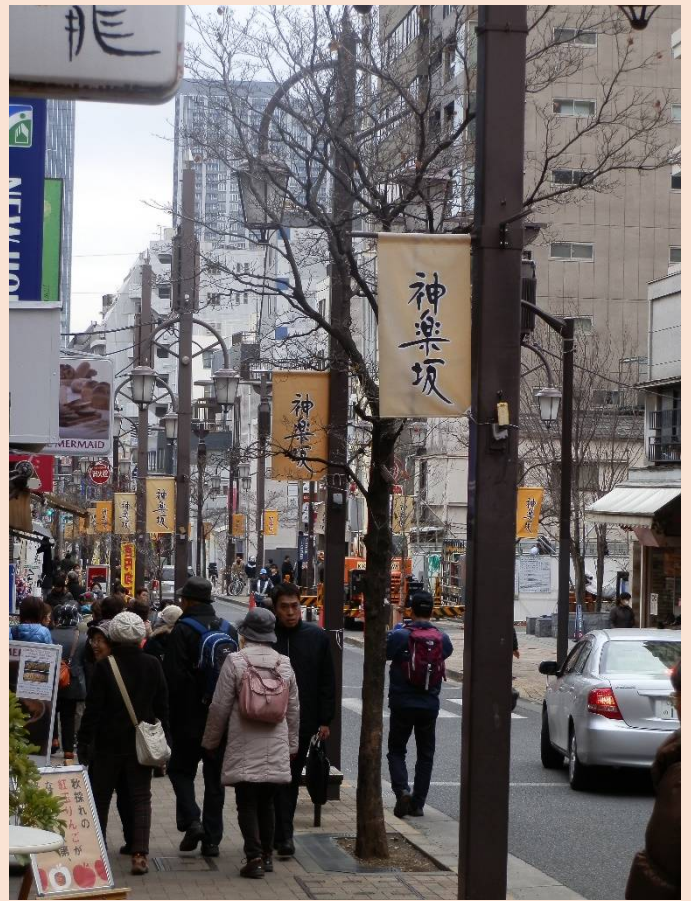
この階段で地形が分かります。神楽の白梅とありますが...



赤城神社を出て神楽坂通りへ。



こうして見ると結構な坂になっていますね。



なかなかいい雰囲気坂道です。



ここが神楽坂上交差点。どう見ても坂の下！



通りの旗の色が赤に。



ちょっと入るとまたこんな路地が...



一人用路地？でも味があります。



石畳の路地も。



何だか迷路に迷い込んだような...



善国寺に着きました。



毘沙門天が祭られています。



皆さん何かお願い事でもしたのでしょうか。



雪に埋もれていますが、ここに水準点があります。



誰ですか？このランチがいいなんて...



粋な店構えですが...



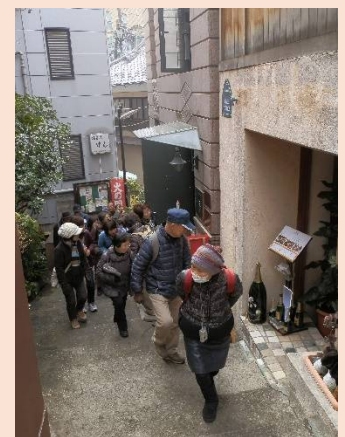
何料理でしょうか？



そろそろお腹が減ってきたようで...



先生はなぜか速足に。



登りがきつい？



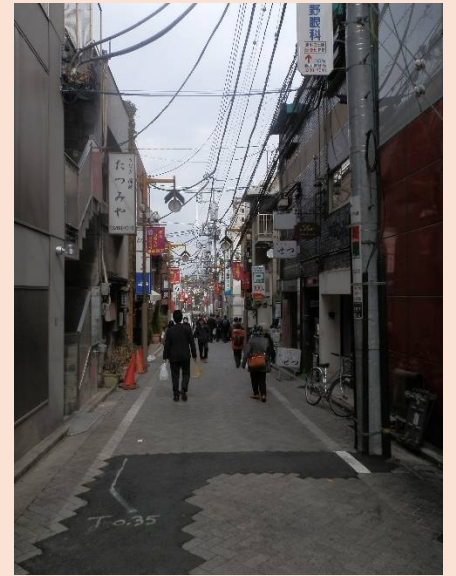
見番横丁の案内が。



小さな神社があります。



ジャンボ肉まん「五十番」でお土産タイム。



この本多横丁は、旗本の本多家の屋敷があったことから、そう呼ばれている神楽坂最大の商店街横丁です。



芸者新道。粋なお姉さんが出て来そうな…



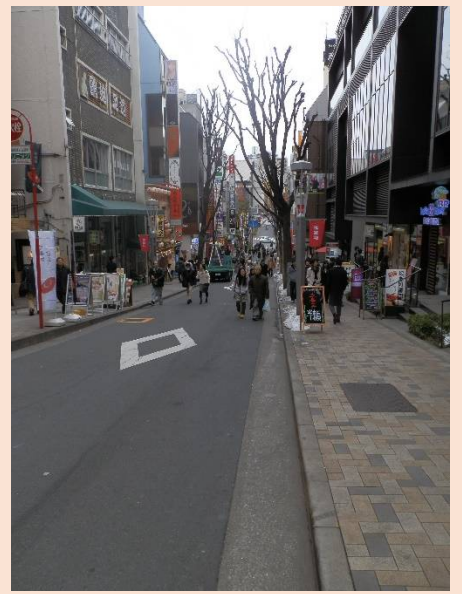
メニューは見るだけ…でも旨そう！



狭い路地を行くと・・・



こんな看板が。何？



ここを下ると飯田橋駅になります。



皆さんの目線の先には屋食場所の「カナルカフェ」がありますが・・・まだですよ！

■神楽坂: 通常神楽坂というと、神楽坂上の大久保通りから神楽坂下の外堀通りの間をいう。今の神楽坂通りがそれらしくなったのは、江戸時代の寛永5年に大老酒井氏が矢来に屋敷を拝領したことに始まる。その後大老の登城道路として整備され、今の神楽坂の原型が出来た。江戸時代に創業の店も数件あり、明治・大正時代からの店も10店以上ある。名前の由来は、神社で奏でる神楽の音が聞こえたので、そこから神楽坂と呼ばれたとも。ただ何処の神社かは不明。明治時代からは、尾崎紅葉や坪内逍遙が神楽坂を舞台に活動していた。（資料より）



神楽小路の石碑です。



こんな小路が似合う街。



ビルに囲まれた泉鏡花・北原白秋の旧居跡です。



東京理科大の中を通過して...



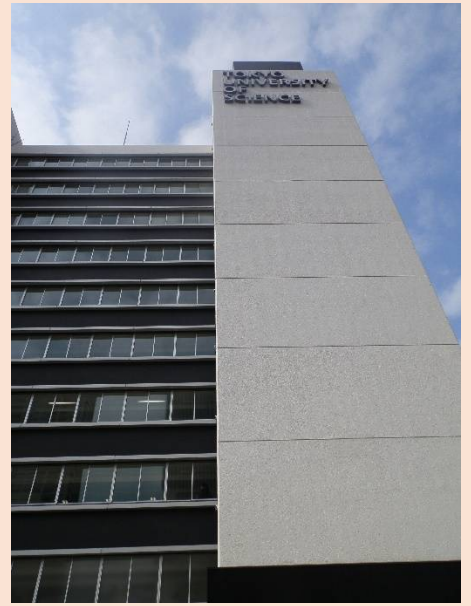
若宮公園に出ます。



この若宮八幡神社が最後になります。



鳥居と石碑はコンクリート造り。



若宮八幡神社から下る庾嶺坂。様々な呼び名があり、幽霊坂とも言われます。

近代的な東京理科大の校舎。



ようやく昼食場所のカナルカフェに到着です。

セルフオーダーなので、メニューに迷います。

↓大勢なので出来上がるまでかなり待たされましたが、やっと食べられてご覧の笑顔です。





オープンデッキなので、少々肌寒かったが食べれば温かくなりました。春は土手の桜が見られロケーションは最高です。



この場所、記憶では昔は単なる貸ボート場だったはず。若い頃に何度かボートを漕いだ覚えがあります。場所柄外人客も来ていたので、若いカップルにはデートスポットとしても好まれているようです。高齢者には？ ゆったりとした時間を過ごすにはいいかと思いますが...

路地から路地を巡って歩いたもので、集合写真を撮るいい場所がなく、結局このカナルカフェで撮りました。(17名で)



※今日は神楽坂歩きとカフェランチということで、女性会員が多く参加されたので男性陣は小さくなっていました！  
新しい神楽坂と、古い面影を漂わす神楽坂の両面の顔を見ることが出来、味わい深いウォーキングとなりました。  
東京には由緒ある多くの坂が点在しますが、中でも特にこの神楽坂界限は、三味線の音が似合う粋な街と言えます。  
なお、〇〇横丁等の小道や路地が多く、筆記せずに撮っていたので一部正確さを欠くかも知れませんがご了承下さい。  
アフターは食べたばかりにも拘わらず、8人で飯田橋サイゼリアに行き、笑い声の絶えないひとときを過ごしました。  
(愛機の機嫌が悪く、時折画面の右側がもやっと写ります。持ち主と同じく、そろそろ賞味期限切れでしょうか…涙)